



自然なゆらぎを演出・信楽焼照明「風のゆらぎ」

陶器(食器)製造業。アーベルシステムズと共同開発した「照明装置用アダプター」を活用し、風、音に反応し本物の炎のような自然な光「窯あかり～風のゆらぎ」製造、販売を開始した。

業況等の動向について

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

大阪のビジネスショーに出展した際、技術者で工学博士である(株)アーベルシステムズ・鈴木文雄社長と出会い共同で開発することになり、技術開発(ゆらぎ回路)と伝統技術(信楽焼)とのコラボレーションで従来にない照明を製作する。風や音などから特定の周波数の振動をキャッチし、自然なゆらぎを演出する「風のゆらぎ」が誕生する。

コンサルティング会社、販売代理店、当社でコンセプトを打ち出し、企画立案、マーケティングまで行った。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果としては、本業以外の新規販売ルートを開拓できたことである。困難だったことは後に成果となるが、従来の販売先と異なることから新しい販路がなかなか開拓できなかったことである。

業況等について

本業の陶器製造は1937年創業。信楽焼の伝統を継承しつつ時代の新しい空気感を表現する窯元である。業況については横ばいを維持している。

新規参入事業については5年前から販売開始し、代理店、インターネット販売、直販と、モノが売れない時代のなかで安価な商品ではないが継続的に売れている。

今後の展望・見通し

近年の景気動向から売り上げは横ばいを推移すると予想している。

メリット・デメリット

メリットは視野・市場が広がり、新規販売ルートが開拓できたこと、書類申請、資金繰り、販路開拓と大変なことは多いが、デメリットと捉えずやりぬくことで自社・自身の力になったことである。

異業種参入時のアドバイス

厳しい時代だから可能なかぎり補助金を使って、商品コンセプトのしっかりした製品をつくるのが大事。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

5年前に国の補助金をコンサルタント会社依頼のもとで受ける。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

大きく4点について希望している。

申請手続きを簡素化

前倒しの資金が必要

高額な補助金を受ける際は分割支給し、経過を観察しながら支援の継続、打ち切りを判断してほしい。

申請窓口を広げてしっかりと選択、管理してほしい。

会社概要

設立:昭和49年6月

資本金:1,000万円

従業員数:20名

URL:<http://010gama.co.jp>